



第746号《改題10号》
 2022年7月1日発行
 発行人 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会
 専務理事 仁尾 和彦
 〒520-0806
 大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階
 電話 077-524-6290
 F A X 077-523-4070
 URL <https://s-rofuku.com/>
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
 印刷所 ユメディア株式会社

滋賀県労福協

第66回(第14期)定期総会を開催



一般社団法人滋賀県労働者福祉協議会の第66回(第14期)の定期総会を5月25日(水)午後2時よりコラボしが21「労働福祉セミナー室」において開催いたしました。

本年度の総会も、新型コロナウイルス感染防止対策として、代議員と役員に参加に限定し開催しましたが、三日月 大造 滋賀県知事はじめ多くの方々より御祝いのメッセージをいただき、総会に華を添えていただきました。

総会冒頭、大西省三 副会長からは、昨年度、感染防止対策を図りながらWebの活用など工夫して取り組んだ事業の実施報告と、日々協力いただいていることへの御礼が述べられました。また、労働者福祉運動の視点から、社会的課題を含めて、今後も『福祉はひとつ』を合言葉に取り組みを進めてまいりたい、と挨拶されました。

議事は、湖南甲賀地区労福協の門坂 章次 代議員(湖南甲賀地区労福協事務局長)が議長に選出され、進行されました。

まず、第1号議案の「2021年度活動報告」を仁尾専務より、第2号議案の「2021年度会計報告」を山本事務局長、「会計監査報告」を南園監事が行い、拍手多数により第1号議案・第2号議案は可決承認されました。活動報告では、コロナ禍が2年目を迎える中、感染防止対策を図りつつWeb配信を行うなど、新たな視線での取組みを展開したことを報告されました。

続いて、第3号議案の「2022年度活動方針」を仁尾専務より、第4号議案の「2022年度予算」については山本事務局長より報告され、拍手多数にて確認されました。

2022年度は、『貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会』をテーマとし、以下4つを活動の基調として取り組んでまいります。

<活動の基調>

- 労福協の「つなぐ」役割と「つながる」運動
- 地域における労福協活動の役割
- 労働運動への期待と一体的取り組み
- 労働運動と労働者福祉事業との関係性

最後に、第5号議案「役員報酬に関する件」について可決承認された後、今期のスローガンを門坂議長が力強く読み上げ提案されました。

<第66回(14期)定期総会スローガン>

- ★ 貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされる地域共生社会を実現しよう!
- ★ 平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会を実現しよう!
- ★ 政策・制度要求の提言で安心・安全な生活を実現しよう!
- ★ 労働運動と労働者福祉事業の「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を広げよう!

上記4つのスローガンが満場一致で承認された後、司会の千秋章造副会長より、すべての働く人の幸せと豊かさを目指して連帯協同で安心共生も福祉社会を目指していくことが確認され、総会を終えました。

2022年度も、各団体と密接に連携し、役職員一同一丸となって取り組んでまいりますので、皆様方の変わらぬご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

TOPIC 1 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会

滋賀県労福協 臨時総会 滋賀県労福協 臨時総会 を実施しました!

滋賀県労福協では、柿迫博理事(会長・代表理事)と藤田豊理事の退任に伴い、後任の選任にかかる臨時総会を開催いたしました。

臨時総会後の理事会では、大西省三理事が代表理事に就任することが決定いたしました。コロナ禍で事業等の実施を制限される中ではございますが、これまで様々な場で培われたご経験と、新しい視点をもって、労働者福祉活動を盛り上げてくださることと期待しております。

皆様方の変わらぬご理解とご支援を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

大西省三 新代表理事より ご挨拶



【大西省三新代表理事】

今回新たに代表理事に就任しました、U Aゼンセン滋賀県支部の支部長大西省三です。前任の柿迫代表理事の理事退任により、7月よりその任を引き継ぐこととなりました。私たち労福協は「共助」の意識をより高めるためにも、協同事業団体の利用促進による「自助」の拡充や、政策制度要求と提言活動による「公助」をより一層前進させてまいりたいと考えています。

滋賀県でも、コロナウイルス感染拡大は、落ち着きを見せ始めてきましたが、物価の高騰がささやかれる中、労働者を待ち受ける環境は厳しいものが予測されますので、今後も労働者に寄り添った立ち位置で、問題解決にあたります。これからも引き続き、その時々課題に目を向け、皆様と連携し中長期的な目線での取り組みを行ってまいりますので、ご協力をお願いします。

TOPIC 2 第93回滋賀県労働者統一メーデー 県内4か所にて同時開催!!

2022年4月29日、連合滋賀との共催により「第93回滋賀県労働者統一メーデー」を実施しました。今年は、中央集会を「栗東芸術文化会館さくら」で、地区集会を「膳所城跡公園」、「ひこね市文化プラザ」、「県立男女共同参画センター」にて、参加人数を制限し規模を縮小しての同時開催となりました。4会場には、役員を中心に計750人が参加し、「一人ひとりが尊重され多様性を認め合う社会をめざしてみんなが輝く未来をつくろう!」のメーデースローガンのもと、それぞれに趣向を凝らした式典等が実施されました。

中央集会の会場では、式典冒頭、主催者を代表し、大西省三中央集会副実行委員長(労福協副会長・連合滋賀副会長)が挨拶を行い「働くことを軸とする安心社会」や、「誰一人取り残されない社会」の実現に向けた、以下4つの第93回メーデーの基本方針が力強く提起されました。

- ①労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求へ貢献する
- ②働く仲間の結集するメーデーの持つ発信力を活かし、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の継承・深化に向け、社会的うねりを呼び起こす運動へ展開する
- ③積極的に家族の参加を呼びかけるとともに、労働者福祉事業団体やNGO・NPOをはじめとする諸団体との連携を強化し、社会全体ですべての人が支え合い共生できる仕組みを構築する重要な契機とする
- ④コロナ禍からの回復、被災地の復旧・復興支援への継続・強化など、「誰一人取り残されることのない」社会の実現に向け、SDGs(持続可能な開発目標)の達成をめざす



難するウクライナの人たちへの人道的支援に向けた募金活動が繰り返され、参加者の方より多くの寄付をいただきました。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

ご来賓の中條絵里滋賀県副知事からは、「本年度はコロナで損なわれた滋賀県の健康を取り戻し、人・社会・自然すべてが充足した本当の意味での“健康滋賀”を一緒に目指していきたい」との三日月知事のメッセージを披露いただきました。

式典の最後には、スローガンとメーデー宣言を確認し、「がんばろう」三唱で士気を高めた後、草津栗東地区労福協の西川伸吾会長の挨拶にて閉会しました。

また、4会場では、ロシアの侵攻による戦火を逃れ、国内外に避難するウクライナの人たちへの人道的支援に向けた募金活動が繰り返され、参加者の方より多くの寄付をいただきました。



TOPIC 1 近畿労働金庫滋賀地区本部 滋賀地区各支店で推進委員会・全体会議を開催しました!!

～「生活応援運動2022」の推進を全体で確認～

2022年度の第1回推進委員会・全体会議が各支店で持ち回り形式を含め開催され、2021年度の業務概況報告及び第24回通常総会予定議案、2022年度事業計画等について論議いただきました。



を確認いただきました。



2022年度は第8次中期経営計画の2年目となりますが、これまでの生活応援運動の取り組みと成果を踏まえ、組合員の金融アドバイザーとしての役割発揮、お金に関する不安や課題を解決するための総合的なお金の相談活動を会員と協働で取り組むため「生活応援運動2022」を継続的に推進していくことを確認いただきました。

「生活応援運動2022」においては、①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により収入減少した組合員への生活支援、②「資産形成のアドバイス」のさらなる強化、③高金利のローン利用防止と他行ローンの借換え強化の3本を取組みの柱として、「生活応援キャンペーン2022」ではライフエールの周知行動を中心とした推進取組みを全体で確認いただきました。

TOPIC 2 こくみん共済coop <全労済> 滋賀推進本部 文化フェスティバル 演劇「パパはマジシャン」を開催しました

去る5月15日(日)、シライシアター野洲(野洲市)にて、『こくみん共済coop文化フェスティバル・パパはマジシャン』を開催し、103組・332名の皆さまにご参加いただきました。

こくみん共済coop文化フェスティバルは、「次代を担う子どもたちとそのご家族に、良質な文化芸術に触れ豊かな心を育んでいただきたい」という願いを込め、「子どもから大人までそれぞれの世代で楽しんでいただける」をキャッチフレーズに、こくみん共済coopが開催している文化イベントです。公演は「こくみん共済coopスペース・ゼロ」(東京・新宿区)での開催に加えて、2011年からは全国各地でも開催され、このたびは所定の新型コロナウイルス感染症対策方針に則り、滋賀県にて開催いたしました。



多くの観客を迎えた舞台では「劇団芸優座」による熱のこもった演技・マジックとストーリーが展開され、参加者の皆さまに「笑いと涙」「ハラハラ・ドキドキ感」そして「家族の絆の大切さ」を感じていただける、楽しいひとときを過ごしていただきました。

今後も「たすけあいの輪をむすぶ」ことを目指し活動してまいりますので、引き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

今後も「たすけあいの輪をむすぶ」ことを目指し活動してまいりますので、引き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

滋賀労済第65回通常総代会、こくみん共済coop滋賀推進本部第5回組合員代表者会議

開催日時: 2022年7月29日(金) 午後1時30分より
開催場所: 「草津エストピアホテル」

各事業団体定期総会の開催報告は、次号掲載予定です。

第67回滋賀県勤労者美術展

Shiga Worker's Fine Art Exhibition

会期: 2022年 7月27日(水) ~ 31日(日)

会場: 草津市立草津クレアホール内「展示ホール」

令和4年夏の交通安全県民運動

実施期間: 令和4年7月15日(金)~7月24日(日)

運動の重点:

- ①子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- ②高齢運転者等の交通事故防止
- ③飲酒運転・妨害運転等の危険運転の根絶
- ④横断歩道利用者ファースト運動の推進

TOPIC 3 滋賀県勤労者住宅生活協同組合

立命館大学「学生団体 clown」と連携で地域貢献

住宅生協と住宅生協T・C・S会で支援を行いました、学生団体 clown によるツリーハウスが完成しました。学生団体 clown はツリーハウスを通じて「人」「地域」「自然」などのつながりを広げ、地域の方や子どもたちに元気を与え人々のコミュニケーションの輪を形成することを理念に活動されています。しかしコロナ禍に入り活動が中止となり3年ぶりの2022年春、米原市伊吹薬草の里文化センター内において3代に渡る学生達の想いが繋がったツリーハウスの完成となりました。8代目代表の2年馬越康輔さんは、「子どもたちがツリーハウスで遊び、地域の人との繋がりの輪が広がってほしい」と語っていました。



住宅生協は、今後もいろんな角度から地域活動の支援や福祉事業の運営を進めて参ります。今後とも支援のほど、よろしくお申し上げます。厳しい社会情勢ではありますが、子どもたちが健全に成長し、社会へ力強く生活を営んでいかれることを心から祈念し今後も応援活動を続けて参ります。

住宅生協のリフォームで暮らしを快適に!

Mさま邸



AFTER



ちょっとしたお手伝いから大きな工事まで お家まるごとお任せください

住宅生協T・C・S会会員企業におきまして「T・C・S会リフォーム部会」が発足し事業運営が進んでいます。昨年度は労働団体や組合員様を対象に広報活動を行い、様々なご相談をお受けし、お住まいのちょっとしたリフォームから労働団体事務所の改装・設備工事まで幅広く実施することが出来ました。地域密着による顧客満足度の高いサービス提供を行い、施工事例と組合員様の満足頂いたメッセージの蓄積に努力して参ります。皆様、住まいのことなら何なりとお気軽にお問い合わせください。



ご近所も外壁塗装を行いだしたタイミングでしたのでお願いしました。外観が一軒ただけでなく、断熱塗料のおかげか、少し快適になった気がします。

TOPIC 4 滋賀県生活協同組合連合会

NPO 法人消費者ネット・しが第13回通常総会開催・全3議案を可決

5月28日、大津市のピアザ淡海に於いて、第13回通常総会を開催し事業報告、活動方針、収支計画・予算、役員選任など、議案すべてを賛成多数で可決しました。

役員改選後、第12期第1回理事会では、理事長に伊藤慧氏(弁護士)、副理事長には市村あつ氏(再任・消費生活相談員)、松林慧氏(弁護士)が就任し、理事7名、監事2名で新体制がスタートしました。

「ゲノム編集食品って、なあに?~安全性と食品表示」消費者月間セミナーを開催



5月28日、大津市のピアザ淡海に於いて、消費者月間(5月)の学習・講演企画として「ゲノム編集食品」をテーマに、県と消費者ネット・しが共催し、オンライン併用のセミナーを開催しました。[参加40名(オンライン19名)]

講師の森田満樹さん(FOOCOM代表)より、ゲノム編集食品をテーマに、遺伝子組換えや品種改良技術との違い、食品表示の問題と安全性についてなどをわかりやすくお話いただきました。ゲノム編集は突然変異育種と同じと整理され、届出制度は適用されますが表示の義務はありません。消費者がゲノム編集技術に対して関心をもち続けていく必要があることを力説されました。参加者からは「科学技術の進歩に驚いたが、食品の安全性については不安も残る」、「遺伝子組換えとの違いがよくわかり商品を選ぶ際の参考になった」などの感想が寄せられました。

TOPIC 3 中央労福協 2022年度全国研究集会 in 静岡 ~「TUNAGARI 世代を超えて。」~

6月2日(木)「中央労福協2022年度全国研究集会in静岡」が現地とWebとのハイブリッド形式で開催されました。県労福協からは現地参加4名とともに、同日にコラボしが21で開催した地区労福協事務局長会議の出席者13名がWebにて参加しました。



今回の研究集会のテーマは「TUNAGARI 世代を超えて。」。コロナ禍を契機に変化する社会の中で、よりよい未来の創造に向けて、新しい「つながり」へアプローチする第一歩として、今の若者たちの感性や価値観、考え方などを理解し、「社会の担い手として一緒にできることはないか」を模索することが目的です。

第1部のトークセッションでは、静岡大学学長の日詰一幸さんがファシリテーターに、静岡大学出版会の鈴木智子さん、静岡大学人文社会科学部3年生の岑永知早紀さん、ワーカーズコープ連合会の須賀貴子さん、中央労福協事務局長の南部美智代さんをゲストに、「社会的課題の解決に向けて世代を超えて若者たちとつながるためにはどのようにすればよいか」が話し合われました。



5人の皆さんからは「同質な協同は『和』にしかならないが、異質な協同は『積』になる」「仲間を知る、相手を知る」「世代をつなぐ中間役が必要」など示唆に富んだお話が聞けました。

TOPIC 4 2021 福祉強化キャンペーン『生活応援セミナー』(第3弾)を開催

~滋賀県住宅生協 企画!~

「コレカラの時代を快適に健康に安心に暮らすための住まいづくり」をテーマとする応援セミナーを開催

3月18日(金)、滋賀県住宅生協の企画による『コレカラの時代を快適に健康に安心に暮らすための住まいづくり』と題したセミナーを開催いただきました。講師は、一級建築士、インテリアプランナー、インテリアコーディネーター等多くの資格をお持ちになるYuuこと尾間紫(おまゆかり)さんです。



住まいを取り巻く環境は30年前より大きく変化し、築年数や建て方によって、安全性や快適性が大きく異なっています。特に、断熱性については顕著で、小さなエネルギーで家の中の温度差を小さく保つ空気のパリアフリーを意識した家も建てられるようになりました。家の寒さが病気の原因になるといった調査結果も報告いただきました。また、家の中には多くの危険が潜んでおり、特に目立つのが、高齢者の転倒や転落といった足元の事故です。暮らしの質

を下げて、生活導線と考えた間取り作りについても紹介いただきました。

さらには、コロナ禍における「『ニューノーマル』で変わった!これからの家づくりに必要なこと」についても紹介をしていただきました。楽しみは家の外!なんて言葉が聞かれた「バブル時代」や、家庭回帰し、災害への強さを求めた「氷河期時代」を経て、家の中に幸せを求める「ニューノーマル」時代の到来です。衛生志向が高まりを見せる一方で、おうちレジャーを楽しんだり、家事ラクが求められたり、と住まいに楽しさを求めるようになってきました。

今回のセミナーを機に、家族とともに健康に暮らすため、危険個所の補修や、ライフラインの確保の見直し、そして楽しい空間づくりに取り組んでみてはいかがでしょうか。リフォーム等のお問い合わせは、是非滋賀県住宅生協までどうぞ!

TOPIC 5 労商提携デジタル会員証を使用いただけます!!

~会員証を刷新しました~

滋賀県労福協では、2022年6月1日より、かねてより運営しております『労商提携』について、「デジタル仕様の会員証」を導入することとなりました。会員のみなさまは、労福協ホームページ『会員専用ページ』にアクセスいただきご確認ください。

アクセスの仕方がわからない場合は、県労福協事務局もしくは所属の地区労福協事務局までお問い合わせください。優待割引の内容も分かりやすくまとめておりますので、是非!ホームページをご覧ください、労商提携店をご利用いただければと思います。



New **ライフエール** 教育にも自動車にも自由に使えるローン

はたらくあなたへ **近畿ろうきん**

お試し審査

わたしたち、いくら借入れできるの？

知ってるあなたは計画的！

近畿ろうきんの「WEB仮申込み」を活用すれば、借入れできそうか事前にチェックができて安心！

スマホでチェック！

借入れしなくてもOK! 資金計画の目安に。

審査結果はメールまたは電話で回答

スマホ・パソコンからいつでもどこでもOK!

2522W001

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済〈全労済〉

公式キャラクター ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済 coop 〈全労済〉 滋賀推進本部

(滋賀県勤労者共済生活協同組合)

大津支所 大津市におの浜 4-5-1 077-524-6031

彦根支所 彦根市大東町 4-28 彦根勤労福祉会館 2階 0749-24-6605

【営業時間】
9:00~17:00

【休日】
土曜日・日曜日
祝日・年末年始

滋賀県住宅生協の **リフォーム** で **暮らしを快適に**

077-524-2800

WEB問合せ 24時間受付中

営業時間 9:00~18:00 定休日 火・水・祝日

まなびあい・つながりあい・つたえあい、
びわ湖をたいせつにして
誰もが平和で安心してくらせる社会の実現をめざします。

滋賀県生活協同組合連合会

- ◆生活協同組合コープしが
- ◆生活クラブ生活協同組合
- ◆グリーンコープしがまる生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者共済生活協同組合
- ◆滋賀大学彦根地区生活協同組合
- ◆滋賀大学大津地区生活協同組合
- ◆滋賀県立大学生活協同組合
- ◆滋賀医科大学生活協同組合
- ◆しが健康医療生活協同組合
- ◆滋賀県職員生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者住宅生活協同組合 賛助会員
- ◆生活協同組合コープ自然派京都
- ◆立命館生活協同組合
- ◆龍谷大学生活協同組合
- ◆ワーカーズコープセンター事業団滋事業本部

◆会員団体一覧◆

日本労働組合総連合会滋賀県連合会
近畿労働金庫滋賀地区本部
こくみん共済coop滋賀推進本部
滋賀県勤労者住宅生活協同組合
滋賀県生活協同組合連合会
ユ'メディア株式会社

株式会社セイキョーホーム
大津地区労働者福祉協議会
草津栗東地区労働者福祉協議会
守山野洲地区労働者福祉協議会
湖南甲賀地区労働者福祉協議会

近江八幡地方労働者福祉協議会
東近江労働者福祉協議会
彦根地区労働者福祉協議会
湖北地域労働者福祉協議会
高島労働者福祉協議会

◆(一社) 滋賀県労働福祉協議会役員一覧◆

会長 大西省三
副会長 白崎直樹
副会長 上田 薫
副会長 千秋 章造
専務理事 仁尾 和彦
事務局長 山本 俊夫

理事 池内 正博
理事 川瀬 美智子
理事 松元 光彦
理事 森井 徹
理事 白木 宏司
理事 中尾 喜享

理事 辻 喜則
監事 南園 晴司
監事 伴 幸士

(一社) 滋賀県労働者福祉協議会 〒520-0806 大津市打出浜2番1号 コラボしが216階

URL <https://www.s-rofuku.com/> TEL077-524-6290 FAX077-523-4070